

消費生活

悪質商法にご用心

「貸します詐欺」にご注意ください

最近、大手金融機関などを装って、「お金を貸します」といった内容の偽ダイレクトメールや電子メールを送りつけて、保証金や保険金名目でお金をだまし取る新手の詐欺が急増しています。このような詐欺行為を「貸します詐欺」といいます。

「貸します詐欺」被害ホットライン

☎03-5320-4775(東京都貸金業対策課)
平日午前9時～正午、午後1時～4時30分
※夜間・休日は留守番電話の「受付ダイヤル」になります。

ご利用ください。消費生活相談

専門の相談員による相談を行っています。
個人で対処しようとせず、相談をご利用ください。
■相談日/毎週水曜日(午前10時～午後4時)、
毎週月・金曜日(午後1時～4時)
■相談場所/市民相談室(市役所1階)

土・日曜日の相談は

緊急的な土曜日・日曜日の消費生活
電話相談窓口を開設しています。
(京都府・京都市の共同事業)
土曜日・日曜日・午前10時～午後4時
☎257-9002、電話相談のみ

お問い合わせ 環境政策課市民安全係(内線249、235)

だまされないための心構え三か条

- ①取引関係のないところから突然送られてくる、「お金貸します」とのダイレクトメール・電子メールなどに注意する。低金利で、しかも高額を貸し付けるかのような広告に注意。
②融資をする前に、様々な口実をつけてお金を振り込ませようとする手口に注意する。保証料、保険料などの名目で必ずお金を要求してきます。
③「貸します詐欺」かも知れないと感じたら、送金の前に「貸します詐欺」被害ホットラインにお問い合わせください。

コラボレーション研究所情報 第7回会議概要

お問い合わせ 政策協働課(内線280)

- 日時/1月16日(月)午後6時～9時
●場所/市役所大会議室

第7回目のコラボレーション研究所では、最初に、今後のスケジュールとして、この会議を踏まえた条例に向けての取組に対する中間報告を作成し、無作為抽出した市民1,000人を対象に、記述式の意見を求めるパブリックコメント(意見公募)型のアンケートを実施することが報告されました。

その後、「(仮称)市民協働推進条例」のあり方の検討が行われ、具体的な施策などの条例に盛り込む内容について議論されました。条例がめざす目標では、「現行では、目標を3つの括りで整理しているが、向日市民憲章の5つの項目にあるように、恵まれた自然を重視する項目を増やした方が良い」という意見が出されました。それに対して「市民憲章との整合は必要だが、項目は絞った方が分かりやすい」「市民憲章がめざすまちの実現に向けたプロセス・手段に協働があるという形で、整理した方が良い」など、市民憲章の位置付けに議論がされました。

協働を支援する環境づくりと支援の方法では、「顕彰制度はやった方が良いが、実際に必要か」の問いかけが行われ、「若者や先達を表彰できる仕組みがあれば、市民の一体感やまちへの意識も高まる」「まちづくりは人づくり。一人ひとりにスポットを当てるような仕組みは必要」「地元出身で市外に出た人に、このまちが自分を見てくれているという意識を持たせるだけでも価値がある。(ロッテの今江選手など)」といった考えが示されました。

また、まちづくりセンターについては、「まちづくりセンターが自立していくとき、財源をどうするのか」「ボランティアで公益事業を行うのは美談だが、若い人材が育たない」「必要経費は自力での確保が必要なので、提言することは大切」などの意見が出されました。

コラボレーション研究所会議開催日程

- 日時/3月10日(金)・24日(金)午後6時～
●場所/市役所大議室
※どなたでも傍聴することができます。

歴史 むこうしの城と国衆

その11 物集女氏の実像とその最期

前回ご紹介した物集女城は、地名を名字とし、室町・戦国期の物集女のリーダーであった物集女氏が主(あるじ)の城館です。

物集女氏は、15世紀後半の西岡にあった“惣国(そうこく)”の代表者として、初めて登場します。惣国とは、村々がお互いに連携してつくりあげる大きなまとまりのことです。惣国は、侵略してくる他国勢に対抗したり、用水争いなど地域内のもめ事を調整したり、大事な役割を果たしました。惣国の代表者を“年

老衆(としよりしゅう)”と呼び、物集女氏の当主光重(みつしげ)はその一人でした。

物集女氏は、室町時代の物集女にあった天龍寺領物集女庄の代官をつとめ、年貢の納入を管轄しました。自らも一族をあげて農業経営にいそんでいたようです。また、物集女街道や伏見道・丹波道など、街道の交差点という立地を活かして、物資の交易にもたずさわっていた形跡があります。武士といっても江戸時代とは違い、室町・戦国期には、農業や交易にも従事するさまざまな顔を持っていました。

物集女の有力者として実力を蓄え、西岡の代表者になった物集女氏でも、16世紀に入り戦国の世となると有力大名である細川家の被官(ひかん)として、ゆるやかな主従関係を結ぶようになります。その使者として、近畿各地を飛び回るようにもなります。

永禄11年(1568)、岐阜から天下統一をめざして上洛してきた織田信長は、圧倒的な武力で畿内を席卷していきました。西岡には配下の細川藤孝が入り、勝龍寺城を拠点に支配を進めます。西岡の国衆たちは、藤孝に従い家来となる者、百姓として村の中で生きることにした者など、対応を迫られました。

この時、物集女氏の当主宗入は、そのどちらでもなく、藤孝のもとにあいさつにも行かず、中世西岡の国衆としての誇りを貫こうとします。信長の耳にも達するほど“曲者(くせもの)”としてマークされるようになった宗入は、ついに天正3年(1575)9月下旬、勝龍寺城下におびき寄せられ、藤孝の家臣によって謀殺されてしまいます。物集女の城と在所は勝龍寺城からの軍勢に攻め破られ、当主を失った一族は各地に離散し、物集女氏は最期の時を迎えたのでした。



現在は公園として憩いの場となっている勝龍寺城下で物集女宗入が謀殺された

新着図書のご案内

今月の一冊

がいこつ

- 谷川俊太郎・詩 和田誠・絵
■教育画劇

ぼくはしんだら がいこつになりたい。がいこつになってようちやんとあそびたい。誰かをほんとに好きになったら、怖いものはなにもない。
詩情あふれるあたたかな、恋の絵本。

一般図書

- 私はこうして発想する 大前研一著 文芸春秋
●旅の途中 巡り合った人々 筑紫哲也著 朝日新聞社
●21世紀のグランドツアー 一生に一度は行きたい世界一周80カ所の旅 日経ナショナルジオグラフィック社
●日本人の平均値 鳥羽賢著 生活情報センター
●統計の意味がわかる ホント?ナットク! 本間富雄著 明日香出版社
●ショージ君の養生訓 東海林さだお著 文芸春秋
●手塚治虫と6人 日本のレオナルド・ダ・ヴィンチ 平田昭吾・根本圭助著 プティック社
●ただしいジャズ入門 中条省平著 春風社
●氷上のアーティストたち 日本フィギュアスケート 八木沼純子著 日本経済新聞社
●よく出てくるこの漢字、わかりますか? 朝日、読売、毎日、日経から新潮、文春まで 北原保雄監修 三笠書房

児童図書

- 国会議事堂大図鑑 政治の現場が見える。 PHP研究所編 PHP研究所
●ハブの棲む島 伝説のハブ捕り名人と奄美の森の物語 西野嘉憲写真 ポプラ社
●花はどこから 花・花びん・水をめぐる3つのものごと 大西暢夫写真 福音館書店
●やせいりょうりこうえん 山岡ひかる著 偕成社
●ドラゴンラージャ1 宿怨 イ・ヨンド作 岩崎書店
●ぐらぐらの歯 きかんぼのちいちゃいもうと その1 ドロシー・エトワーズ作 福音館書店
●だるまのマーくんとはいたのおばけ 小沢正作 片山健絵 ポプラ社
●十二支のかぞえうた さいとうしのぶ著 佼成出版社
●マリーおばさんと7ひきのねこ アン・ジェームズ絵 ジェリ・クロー文 講談社

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181